

●自然体験⑫

チューブすべり [\(動画はこちら\)](#)

概要

風のはらっぱの斜面を利用して、チューブすべりを楽しむことができます

人数

・何人でも

対象

・幼児～

実施期間

・冬

所要時間

・60分～90分程度



活動場所

・屋外(風のはらっぱ)

指導のねらい

・チューブで滑る爽快感を楽しみ、冬の自然を体感する

活動のながれおよび留意点

【事前準備】

- ① チューブすべりでの留意点を確認しておく
※ 別紙1参照
- ② 使用できるチューブの個数を確認しておく
※ チューブの割当は、調整後にお知らせいたします

【当日】

- ① 服装、持ち物の確認や健康チェックを行う
- ② 物品の貸出(山の家職員立ち合い)
- ③ コーンを置いてチューブエリアをつくる
※ 別紙1参照
- ④ チューブすべり実施
- ④ 物品の返却(山の家職員立ち合い)

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

・チューブ、無線機

【団体で準備するもの】

・服装(防寒インナー上下、長めの靴下、フリース等)、スキーウェア上下、耳まで隠れる帽子、ネックウォーマー、冬用手袋、汗拭きタオル、換えの手袋、水筒、救急用品

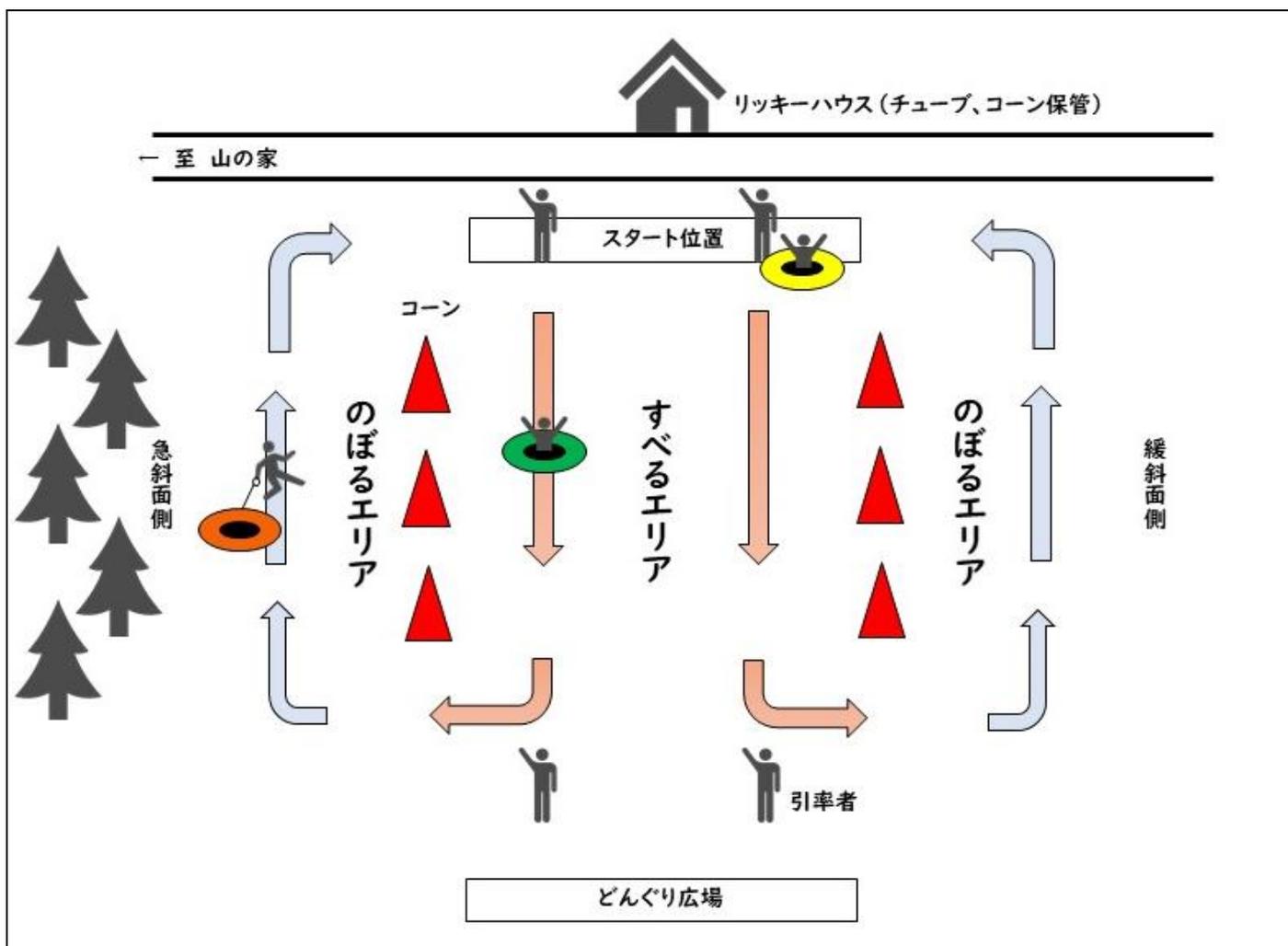
備考

・滝野スノーワールド そりゲレンデにおいても、チューブ滑りが実施可能です(事前申請必須)

チューブ(エリアの作り方・留意点)

エリアの作り方

下図のようにコーンを置いてエリアを作ってください



留意点

【すべる人】

- ・ 一斉にスタートせず、スタートした人との間隔をあけてスタートする
- ・ 引率者の指示があるまでスタートしない
- ・ 立って乗ったり、前のめりで乗ったりしない
- ・ チューブは3人以上で使用しない
- ・ 二人乗りをするときは背中合わせか、膝の上で抱える
- ・ チューブのひもは中にしまう

【引率者】

- ・ 上からすべってきたチューブを受け止めない

【片付けの時】

- ・ チューブの雪をしっかりとほろい、小屋の中にしまう
- ・ チューブのひもはポケットの中にしまう

